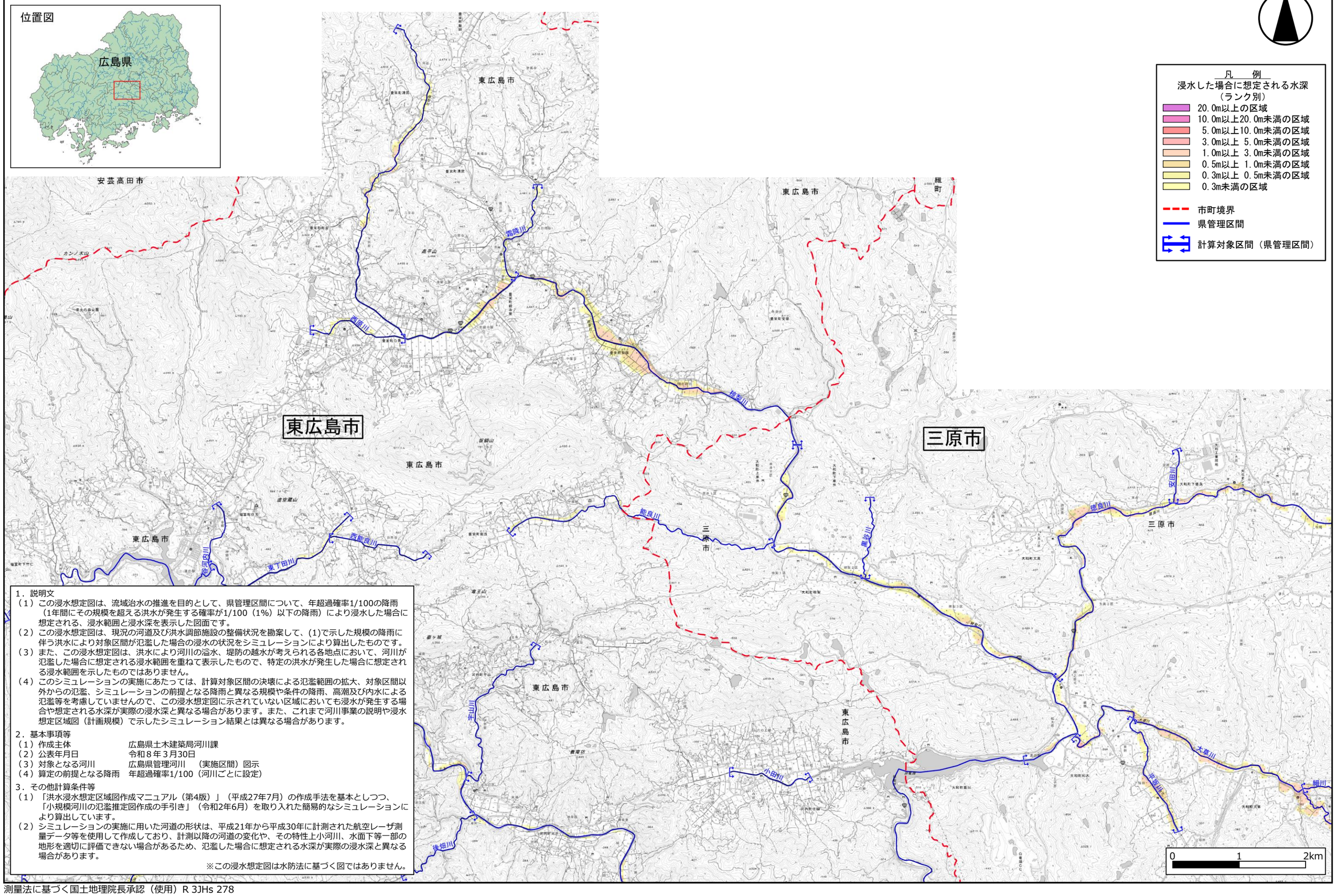
浸水想定図【1/100規模降雨】（沼田川水系）



1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、県管理区間について、年超過確率1/100の降雨（1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%）以下の降雨）により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、(1)で示した規模の降雨に伴う洪水により対象区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）また、この浸水想定図は、洪水により河川の溢水、堤防の越水が考えられる各地点において、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したもので、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではありません。

（4）このシミュレーションの実施にあたっては、計算対象区間の決壊による氾濫範囲の拡大、対象区間以外からの氾濫、シミュレーションの前提となる降雨と異なる規模や条件の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。また、これまで河川事業の説明や浸水想定区域図（計画規模）で示したシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）作成主体　　広島県土木建築局河川課

（2）公表年月日　　令和８年３月30日

（3）対象となる河川　　広島県管理河川　（実施区間）図示

（4）算定の前提となる降雨　年超過確率1/100（河川ごとに設定）

3．その他計算条件等

（1）「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）の作成手法を基本としつつ、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）を取り入れた簡易的なシミュレーションにより算出しています。

（2）シミュレーションの実施に用いた河道の形状は、平成21年から平成30年に計測された航空レーザ測量データ等を使用して作成しており、計測以降の河道の変化や、その特性上小河川、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※この浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 278